

（主な意見・質問）

（問） 昨年までは、統合を反対する声が多ければ、統合はしないという話だったと思うが、今の説明では、反対の声があったとしても統合するということか。

（答） 平成29年度の保護者アンケート結果を見ると、賛成が25票、反対が29票の計54票（全戸回収）であった。令和元年度は賛成16票、反対18票で、令和2年度が賛成15票、反対14票、無回答2票であった。その中で、保護者からいろいろな意見をいただいた。

今回の学校再編整備第二次実施計画の後期計画では、賛否を問わないとしているので、統合に向けて進めていきたいと考えている。やはり、子どもたちの数が減ってきている中で、ある一定規模の児童生徒数が必要だと考えているので、ご理解いただきたいと思う。

（問） 例えば、統合してから新しい学校に通うのが嫌だと言った場合に他の小学校への転校は認めもらえるのか。

（答） 現在でも、子どもたちの心の問題や友達関係などで学校に通うことができなくなった場合は、学校や市教委に相談し、特段の事情があれば校区外通学を認めている。

（問） 以前の説明会では、通学方法は路線バスを利用すると聞いていたが、今回の説明会ではスクールバスを利用するに変わったようなので、その場合、どこで子どもたちを降ろすのか。

（答） 旧神山幼稚園の園庭を改修して、ロータリー式の乗降場所にできないか考えている。

（問） 現在、舌田地区の子どもたちは、タクシーを利用して各家まで送り迎えしていると思うが、川上小の場合は、スクールバスの時間帯や乗降場所はどうなるのか。

（答） 舌田地区の子どもたちの数は13人くらいだったと思うので、ジャンボタクシーや小型タクシーを利用して2台に分けて送迎している。乗降場所は、安全な場所を選定する必要があるが、ジャンボタクシー等であれば、たまたま家の前が安全だったので乗降場所に指定できたのだと思う。

スクールバスについては、マイクロバスになるのか、一回り大きいバスになるかは、子どもたちの人数を見ながら検討したいと思っている。スクールバスの大きさにもよるが、安全第一に考えて乗降場所を選定したいと考えている。

（問） 学年によって帰宅時間が変わると思うが、舌田地区はタクシーを何便ぐらい配車しているのか。

（答） 舌田地区は3便で対応しており、教頭先生が中心となり配車時間の割り振りをしている。

（問） 学校行事等で帰宅時間が遅くなったとしても親が迎に行くことはないということか。

（答） 例えば、子どもが授業中に体調を崩したなどの場合は、保護者の送迎をお願いする事はあるかもしれないが、基本的には保護者の送迎は必要ないものと考えている。

（問） 先ほどの説明で小学校の望ましい規模は、1学級25人程度とあったが、3校が統合した場合、1学年あたり何人以上で2学級となるのか。

（答） 今の児童数の推計を見ると、統合予定の令和8年度では、小学3年生から6年生までは2

学級になると思う。その時の1学級の人数は18人から20人ぐらいである。1学年36人以上で2学級になるが、1年生と2年生は、33人から35人ぐらいなので、1学級だと思う。ただ、その後は子どもたちの数が減っていくので、2学級を維持することは難しいと思う。

(問) 神山小では、夏休み期間中も陸上練習や音楽部の練習があると思うが、その時も舌田地区の子どもたちはスクールバス等を利用しているのか。

(答) スクールバスやタクシー等で対応している。

(問) 過去には保護者が中学校の定期代を半額負担する時期があったと思うが、以前の説明会では市が全額負担するという話を聞いた。通学支援については、市が全額負担するということを口約束ではなくて、統合合意書に記載してもらえるのか。

(答) 保護者が定期代を半額負担していた件については、旧八幡浜市の時にはあったようであるが、現在は、通学費の保護者負担はなく、市が全額負担しているので、統合後もそのように対応する考えである。統合合意書に必要があれば記載したい。

(問) スクールバスの運転手をどこに依頼するのか。シルバー人材センターに依頼するのは不安である。

(答) 現在、宮内小と保内中の送迎に関しては、シルバー人材センターに委託し、市が所有しているスクールバスを使用して運行している。日土地区は、にこにこ日土に委託している。双岩中は、八幡浜観光に委託し、市が所有しているスクールバスを使用して運行している。ジャンボタクシーなどについては、アトムタクシーや富士タクシーに依頼している。

大型バスなどの運転手の高齢化や人材不足が言われている中で、シルバー人材センターを含め業者に委託し、継続して運行ができるよう対応していきたいと考えている。

(問) この計画通りの統合となれば、例えば来年度に川上小に入学した場合、2年間は川上小の体操服などを使用し、3年生の時に統合した学校でも新たに体操服等を購入することになるのか。それとも市が支給してくれるのか。

(答) その場合、体操服など新しい学校で必要になるものについては市が負担する。ただし、統合後に入学する子どもたちは自己負担となる。

(問) 統合後も神山小の校訓や校歌などはそのまま継続して使うのか。

(答) 学校名も含めて、新しいものを作っていくという考えである。

(意見) 川上小独特の行事である「ひびき集会」は、統合してからはどうなるのか。5、6年生の神楽発表会を見た下級生が格好良いと言っている姿を見ると今後も続けてほしいと思う。

(答) 「ひびき集会」を今年度も見させていただいたが、子ども神楽は唯一無二のここにしかないものだと思う。小学生と保護者だけでなく、保育所や地域の皆さんと一緒に子ども神楽を見守り、盛り上げる雰囲気はとても良いことだと思う。

学校が新たに統合されると、今までのように総合的な学習の中で活動することは難しくなると思うが、とても大切な活動だと思うので、ぜひ、川上地区の子どもたちが課外活動として、地域の方と練習・稽古を積み上げて、柱松や公民館の行事等で披露する場を設けて、残して行ってほしいと思

う。

(問) 先ほど舌田地区はタクシーを3便出ていると聞いたが、タクシーを待つ間、子どもたちは何をしているのか。学校の対応を教えてください。

(答) バスやタクシー通学の児童を一つの教室に集めて、そこで勉強している。その間は、教員が対応している。

(問) 八代中の通学方法は路線バスなので、乗降場所はバス停になるが、小学校のスクールバスも路線バスのバス停になるのか。

(答) スクールバスをバス停に止める場合は、運輸局などに確認する必要がある。スクールバスの大きさにより安全に停車できる場所が違ってくるので、子どもたちの数を見ながら通学方法について検討する。また、子どもの数や住所により、毎年、乗降場所が変わる可能性もあると思う。

(問) スクールバスを使用する場合、先生が同乗するのか。

(答) 年度始めには、臨時的に教員が同乗する場合があるかもしれないが、普段は教員は同乗していない。

(意見) 路線バスは、上泊を経由して、白石、庄崎で乗るようになるので、路線バスを利用する中学生の中には、どうしても座れない時がある。土曜日や日曜日は、真穴便しかない日もあるので、絶対に乗れないからと親が送迎することもある。小学校はスクールバスを利用することなので、確実に子どもたち全員が乗れるよう席を確保してほしいと思う。

(答) 子どもたち全員が乗車できるように運行する。仮に子どもたちが80人ぐらいであれば、バス1台の運行では無理なので、2台運行になると思う。子どもたちの人数を見ながら車種や大きさなどを決めていきたいと思う。

また、八代中の話になるが、先生方の研究会や学校行事の後に一斉に帰宅する場合は、路線バスに乗れない時があるので、その場合は、タクシーを利用してほしいと学校に伝えている。去年は、4、5回タクシーを利用し、全額市が負担している。

(問) スクールバスを利用するということだが、今後の社会情勢によって市の財政状況が悪化した場合、スクールバスから路線バスに変更することは絶対にないか。

(答) スクールバスから路線バスに変更することはない。

(問) 3校が統合して、新しい学校になるということだが、神山小の児童数が多いので、どうしても神山小へ統合するという気持ちがあり、心配や寂しさがある。新しい学校の校風や学校方針は、どの時点で周知されるのか。

(答) 神山小へ統合するということではなく、新たな学校を作っていくという方向で進めている。これまでの川上小や双岩小で活動してきたことなどを洗い出し、新しい学校になっても残していくもの、新たにすべきものを地区協議会（仮称）や統合準備委員会（仮称）で決めていくものと考えている。

また、先ほど統合後の小学3年生以上は、2学級になると説明したが、学級編制をする際には、川上小や双岩小の子どもたちへの配慮をしていきたいと思う。

(問) 次回の保護者説明会は、10月6日に予定されているが、それ以降の予定はどうなっているか。

(答) 今日の説明会では、ほとんどの保護者が来られていると思うが、今日出された意見や質問を取りまとめて、次回の案内文書に付けて配布する予定である。中学校は2回の保護者説明会だったが、小学校でも今のところ2回の開催予定としている。2回では足りないということであれば、学校と日程調整をして回数を重ねていきたいと考えている。

(意見) スクールバスを利用するということが、神山小で乗り降りする時に先生が点呼する等のサポート体制を考えてほしい。全国的にも幼稚園の送迎で置き去りにされた子どもがいたという記事を見ると心配になるので、低学年の子どもが乗っている場合は配慮してほしいと思う。

(答) 当然、バスの運転手や学校の配慮は必要だと思う。例えば、置き去り防止システムの導入など必要なものについては十分検討しながら進めていきたいと考えている。

(問) 川上小の修繕を教育委員会に要望した時に、どうせ統合するから修繕しないと聞いたことがある。プールのペンキが剥がれていたり、体育館のワックスが剥がれ、ささくれのある危険な箇所もある。教育委員会では、学校ごとに危険な箇所があることについて把握されているか。

(答) 先ほどの体育館のささくれについては、子どもたちが怪我をする危険性があるので、この後施設係に報告し対応する。子どもたちの安全・安心に関することは、統廃合があるから修繕を控えているということは絶対にない。危険な状態であるということであれば、学校から随時教育委員会に連絡が入り対応している。

また、毎年、学校に対して学校設備や備品等の要望調査をしており、その要望を基に10月には教育委員と一緒に学校訪問をして、子どもたちの授業に合わせて施設も確認している。その中で優先順位をつけながら修繕している。例えば、昨年、川上小では、玄関屋根の防水工事や給食搬入口のアスファルト工事などを行っている。ただ、川上小の校舎は木造のため、耐震補強が難しい点についてはご理解いただきたいと思う。

(意見) 少人数の中で学校生活をしてきた子どもたちがいきなり多人数の中に入ると、苦痛を感じる子どももいるかもしれないので、統合する前に神山小と川上小、双岩小と一緒に授業を受けたり、体験学習をしたり、子どもたちが一緒に過ごす時間を設けてほしい。

(答) 今でも八代中校区内の小学校同士で授業交流をしたり、修学旅行や自然体験活動は何校かが合同で行っている。統合が決まれば、少なくとも1年かけて、学校同士の交流を増やし、仲間作りをした上で新たな学校をスタートしたいと考えている。

(問) 今回の説明を聞いた後も夫婦で意見が違う場合があるので、反対意見があった場合は、統合が延期される可能性があるのか。

(答) 統合に対して賛否を問わないとしているので、概ね保護者の理解が得られれば、地域説明会を開催するとともに地区協議会（仮称）を立ち上げていくという手順を踏みながら、予定通り統合に向けて進めていきたいと考えている。